

学校教育目標 社会とのつながりの中で 学力そして豊かな心とからだを育てる		
教育理念 子どもも 保護者も そして教職員も安心できる学校づくり		
めざす子ども像 かしこく やさしく たくましく		
・学び方を工夫し、主体的に取り組む子 ・相手の考えを聞き、自分の考えを生かして学びを深める子	・ちがいを認め合い、助け合える子 ・思いやりの心を持ち、相手も自分も大切にする子	・自分で決めて、自分から行動できる子 ・難しいことにも挑戦し、最後まであきらめずにやりぬく子
かしこく	やさしく	たくましく

一人一人が輝く
チーム美川

カリマネの柱 伝え合い深める子の育成 ～道徳科の授業を中核として～

学習

- ◎学び合い、学力の向上
- ・ねらいを明確にした子ども主体の授業
- ・自分を見つめる道徳科の授業づくり
- ・ICTの効果的な活用
- ・探究的な学び
(地域学習、白山ジオ学習)

生徒指導

- ◎一人一人のよさの伸長、自己指導力の向上
- ・発達支持的生徒指導
(スクールワイドPBS)
- ・課題未然防止教育
- ・保健安全教育

特別活動

- ◎違いを認め合う温かい学級、学年をこえた高め合う集団作り
- ・たてわり活動
- ・学校行事
- ・児童会活動
- ・芸術、スポーツ、自然体験などさまざまな体験活動

生徒指導の4つの視点

自己存在感 共感的人間関係 自己決定の場 安全・安心な風土の醸成

教育活動全体における道徳教育の充実

【家庭・地域との連携】

- ・地域の資源や人材を活用した地域学習や白山ジオ学習の充実と学びの発信
- ・定期的な学校公開日(みかわの日)の設定と教育活動の公開
- ・家庭と連携した基本的生活習慣の確立、家庭学習の充実、読書の習慣化
- ・コミュニティスクールと一体的に推進する地域学校協働活動の充実

【教職員の協働体制の構築】 学び合い、支え合い

- ・危機管理意識の向上と課題に対する組織的対応 ・校内研修による指導力の向上
- ・配慮や支援を要する児童を全教職員で理解し、支援する意識の共有
- ・認める、ほめる、励ますことで児童の持っている力を伸ばそうとする意識の共有